



## 埼玉県中南部に位置する大和合金

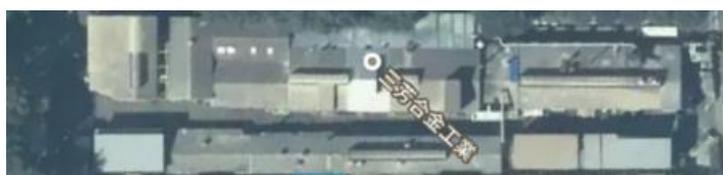
いつもご愛読ありがとうございます。

大和合金でございます。

真夏から一気に秋へ突入し、過ごしやすい日が続きますね。

今回は弊社が位置する地域のことについてお話しをしたいと思います。

弊社は埼玉県中南部に位置する三芳町上富にあります。ご来場された方はご存じのとおり、とても細長い敷地をしています。中央通路を挟んで、溶解・鍛造・熱処理・切断などの工程毎に入口があり、人や材料が頻繁に出入りしていますので、まるで賑やかな商店街のような雰囲気です。(ほめすぎかな?)



ご見学された方々から、「無駄に歩かされた」「もうちょっと回りやすい配置に変えるべきだ」という厳しいご意見が届いているかどうかは定かではありませんが、反対側の工程へ用件があるときは少々億劫になります。夏の終わりには、移動中に夕立にあうなんてこともありました。

筆者ももうちょっとマシな土地はなかったのかと思いつつ、車通勤での運動不足解消に会社近くを散歩して気づいたのですが、近隣の会社や住宅団地、畑など、おしなべて細長い形をしているのです。埼玉県は隠れたうどん県でもありますので、細長モノ好きの影響かもしれないなとぼんやり考えていたところ、ついに真実を発見しました。

「三富開拓地割遺跡」の一角に、弊社は位置しているのです。(写真右下が弊社)



「さんともかいたくちわりいせき」(「さんとみ」とも読みます)は、もともと何もない萱原だったこの地を、320年以上前に川越藩が開拓したものだそうです。三富は、弊社の位置する上富と、これに続く所沢市中富、下富をあわせた呼び名で、広大な面積に及びます。その時の地割(区画分け)が、道路面 72m×奥行 675m などの細長い形となり、今に至っているのです。貴重性もあり、世界農業遺産への登録が検討されているようですので、その規模とパッチワークのような地割を、Google Maps などでチェックしてみてください。北海道美瑛町の景色に匹敵しそうなのですが、三富は平坦地のため数十メートル先で栽培している作物くらいしか見えないのが残念です。しかも栽培の主力はサツマイモですので、色彩の変化もあまり期待できなさそうです。

サツマイモといえばお隣の川越が有名ですが、「富の川越いも」の呼び名もあるとおり、産地は三富地区にもまたがっています。これから冬にかけて「いも街道」を中心に直売所が設けられますので、みなさんお試しになってはいかがでしょうか。

また例年であれば、細長い地割を活かした「世界一のいも掘りまつり」に併せて、上富小学校屋上が解放され、あの細長パッチワークを一望することができるそうです。コロナ禍が早く終息するといいですね。

さて、いもとパッチワークのことは分かったけど、大和合金がどこにあるかよくわかんないし興味もないよねというみなさん、大和合金は、みなさんのすぐ傍にいます。関越自動車道上り線「所沢 IC 2km」の標識、そのすぐ左側に大和合金はあります。高速道路から見える看板を設置できるかどうかは、読者のみなさんの反響次第ですよ。

ではまた次回お会いしましょう。